



巻頭言

インターナショナルオフィス長 徳田 雅明

インターナショナルオフィスニュース第19号をお届けします。香川大学インターナショナルオフィス(Kagawa University International Office:KUIO)は、留学生センターと国際研究支援センターからなり、留学生の受け入れや日本人学生の派遣の推進、国際共同研究の推進、地域の国際活動の推進などを担当しています。



インターナショナルオフィスニュースは年に2回発行し、直近の半期の活動を皆様にご紹介するためのものです。できるだけ留学生や日本人学生に関連する話題を優先的にご紹介するとともに、学生たちの声をできるだけ盛り込むようにしています。

平成29年度の1年間で、正規生や短期の履修生・研修生などを含めると345人の留学生が香川大学4キャンパスを訪れました。毎年その数は増えています。例えば幸町キャンパスのイングリッシュ・カフェは留学生と日本人学生との交流の場となっており、楽しみながら英語を勉強することができます。

日本人学生の海外での留学活動も盛んになりつつあります。平成29年度の1年間で241人の日本人学生が海外に飛び立ちました。インターナショナルオフィスでは、みなさまの留学をサポートします。

国際共同研究の活性化も重要です。平成30年8月27日～29日にタイ王国のチェンマイ大学(香川大学の海外教育研究拠点校のひとつです)で行われた、第7回チェンマイ大学・香川大学合同シンポジウムでは、教職員41名とともに学生48名が参加し、研究発表と相互交流促進のイベントに参加しました。

学生たちの自主的な活動も徐々に増えてきています。イングリッシュ・カフェでの活動、ハラルフードを通じた異文化理解を深める活動、地域の方々との交流活動などです。今後ますます広がるように取り組んで参ります。

インターナショナルオフィスは、幸町南キャンパスの南2号館1階に平成29年12月に引っ越しました。香川大学のスクールカラーである緑を基調とした明るいスペースになっていますので、どうかお越しく下さい。

<第7回チェンマイ大学・香川大学合同シンポジウム>

8月27日（月）～29日（水）タイ国チェンマイ大学において、第7回チェンマイ大学・香川大学合同シンポジウム（テーマ：Healthy Aging and Sustainable Society: Global Development 4.0）が開催され、本学からは徳田オフィス長を始め、教職員41名、学生48名が参加しました。

この合同シンポジウムは、本学の海外教育研究拠点校であるチェンマイ大学との全学的な学術国際交流の一環として、2007年より、両大学にて交互に開催しているもので、今回は第7回目になります。

シンポジウムの開会式では、Niwes Nantachit（ニウエース ナンタチット）学長の挨拶、本学寛学長からのビデオメッセージ上映のあと、川田在チェンマイ総領事館総領事が祝辞を述べられました。

その後、5会場で、2日間にわたって、「Smart Cities and Attitudes towards Them」、「Regional Economy and Creativity」、「Aging Society」、「Energy and Sustainable Technologies」及び「Food and Agriculture」のオーラルセッション、加えて、ポスターセッションが行われ、各会場で活発な議論・質疑応答が行われました。特に、ポスターセッションにおいては、多くの本学学生が参加の機会を得て、聴講者へ熱心に説明等を行い、会場は熱気に包まれました。

今回のシンポジウムには、本学から多数の学生が参加し、交流を深めることができ、教員だけでなく学生にとっても有意義な開催となりました。

次回は、2年後に香川大学において、第8回合同シンポジウムを開催する予定です。



寛学長からのビデオメッセージ



記念品交換(左:チェンマイ大学学長、右:徳田オフィス長)



パネルセッション



集合写真

<帰国留学生ネットワーク>

中国支部第5回総会を開催

7月27日（金）、標記中国支部第5回総会が広東省広州市で開催され、帰国留学生ら約30名と本学関係者13名が出席しました。帰国留学生ネットワーク中国支部は、香川大学を卒業・修了した帰国留学生が相互に親睦・情報交換を図るとともに、本学の国際交流の推進に寄与することを目的として、2009年6月に北京で設立されました。今回は、3年前の天津に続き5回目の開催となります。

まず、徳田オフィス長から香川大学の取組等の近況報告が行われ、続いて各部局の教員から現況や特色ある取組が報告されました。その後、OB・OGから自己紹介とともに、香川での思い出や在学中に受けた指導への感謝や近況報告、卒業・修了後の研究成果、今後の香川大学への期待などが述べられ、その後、活発な意見交換を行い、今後の支部会の在り方や展開について議論することができました。翌日は、広州市内でのエクスクーションを実施し、本学教職員と同窓生との交流を深めました。今後、益々の元留学生との連携協力と、本学の国際交流の推進が期待されます。



総会の記念撮影



中国支部総会に参加されたChen Xiさん(右)
と指導教員だった佐藤経済学部長(左)

タイ支部第4回総会を開催

8月26日（日）、標記タイ支部第4回総会がチェンマイ市内のホテルで開催され、帰国留学生ら約31名と本学関係者34名が出席しました。帰国留学生ネットワークタイ支部は、2012年11月にバンコクで設立され、今回は2017年3月のチェンマイに続き、第4回目の総会開催となります。

まず、徳田オフィス長から香川大学の取組等の近況報告が行われ、続いて各部局の教員から現況が報告されました。その後、OB・OGから自己紹介とともに、香川での思い出や在学中の感謝が述べられました。

今回は第7回チェンマイ大学・香川大学合同シンポジウムにあわせて開催されたこともあり、多くの教職員が参加したことから、今後の国際交流について歓談が行われ、活発な意見交換を行い、交流を深めることができました。今後の交際交流の推進が期待されます。



総会の様子



集合写真

<留学生受け入れプログラムから>

2018(平成30)年度春期新入外国人留学生ガイダンス及び歓迎会

2018年春期、本学は12か国・地域から52名の留学生を迎えました。それに伴い、国際オフィスでは4月6日(金)に関連するガイダンスを実施しました。

午前中の各寮におけるガイダンスでは、注意事項等が中心に扱われました。午後の全体ガイダンスは、高松北警察署による法令遵守関連の内容及び国際オフィスによる学生生活や日常生活に関する内容が扱われました。これらのガイダンスの後には、新入留学生のための歓迎会が開催され、新入留学生以外にも、在学中の留学生、留学生サポーター、地域の国際交流団体関係者、留学生の指導教員等があわせて約120名参加し、交流を行いました。



全体ガイダンスの様子



歓迎会の集合写真

2018年度前期 さめきプログラム

2018年度前期、インターナショナルオフィスは、さめきプログラムに5名の学生を受入れました。内訳は、交流協定大学であるブルネイ・ダルサラーム大学（ブルネイ）から2名、国立嘉義大学（台湾）から2名、ハンバット大学（韓国）から1名となっています。

これらの学生は、語学能力に応じた日本語・日本事情授業、全学共通科目や学部提供の授業、インターナショナルオフィスや本学の四国危機管理教育・研究地域連携推進機構による特別講義などで、前期の間充実した学習活動を行いました。これらの中には、日本人学生と共に香川県に関する調査・発表を行う、共修型科目（「プロジェクトさめき」）も含まれています。

7月25日（水）には、これらの学生及び平成29年度後期より国費の日本語・日本文化研修留学生として学んでいた留学生センター所属学生の修了式を実施しました。学生たちは学習の成果を活かして日本語でスピーチを行いました。いくつか抜粋します。

- 「『プロジェクトさめき』では日本人学生と一緒に勉強したので、最初は大変でしたが、最後にプロジェクトが完成した時は本当に嬉しかったです。」（台湾、女性）
- 「ずっと日本に来て留学をして多くの友達を作るのが夢でした。その夢が叶うように手伝ってくれた韓国での教授だけではなく、日本に来て韓国とは違う生活や、日本語の勉強、また新しい友達を作ることを手伝ってくれた先生方、学生、そして他のみんなにもありがとうございます、と言いたいです。」（韓国、男性）
- 「たとえば、神社について勉強してから神社へ行きましたから、勉強したことがよくわかりました。」（ブルネイ、女性）

修了式後には、前期で留学を終える他部局の留学生も含め、さよならパーティーを開催しました。今回も在学中の留学生、留学生サポーター・チューター、地域の国際交流団体関係者、留学生の指導教員等が約60名出席し、帰国前の交流のひとつを楽しみました。



徳田オフィス長による特別講義



修了証書を手にして

第1回課外教育行事

2018年6月16日（土）、今年度1回目の課外教育行事を実施しました。今回の見学・研修先は琴平とまんのう公園でした。

琴平町では、日本最古の芝居小屋である金丸座に行き、客席や舞台装置、舞台裏などを見学し、説明を受けました。また、金刀比羅宮では参道を自由散策し、各々が歴史文化に触れられたようです。

また、まんのう公園では、自然生態園ガイドウォークを行い、讃岐地方の風景であるため池のある里山の環境を体感することができました。

本行事には、香川に来た留学生に、香川のことを学び、実体験して欲しいという狙いが含まれています。今後も、同行事を継続していきたいと思います。



琴平の金丸座にて

第1回ホームビジット

香川県留学生等国際交流連絡協議会が実施母体となり、県内に住む留学生と地域の日本人との交流や日本文化の理解を目的とした年2回のホームビジット事業のうち第1回が7月7日、14日に行われました。留学生は、ホストファミリーと買い物に行ったり、料理を共に作ったり等、各々の形で交流を行いました。参加した学生からは「いろいろな文化を体験」「貴重な体験」となったとの感想があり、好評でした。



ホームビジットのひとコマ

<本学学生の留学促進プログラムから>

2018年度イングリッシュ・カフェ始動

イングリッシュ・カフェでは、香川大学生がネイティブの先生や留学生と楽しく英語を学ぶことができるよう、1日6コマ(2限～6限+18時開始の放課後クラス)、週に合計30コマのWorkshop(クラス)を開講し、月に1～2度は様々なイベントを開催しています(後述2)。

2018年度前期のクラスから①Travel English、②TOEFL Speaking Tutorialの紹介と、各クラスに参加いただいていた学生さんの声をお届けします。

① Travel English (毎週火曜3限・水曜放課後クラス(18:00-19:00))

インターナショナルオフィス教員 Arran Chambers (アラン・チャンバース) 先生が旅行や留学等で海外に行った時に使う英会話を教えるクラスです。レストランでの注文や道に迷ったとき等色々な場面を想定して海外で使える英会話を学びます。



【学生の声】

Q 参加したきっかけは？

A 同じ科の友達からの紹介です。将来、イギリスへの留学を考えており、IELTS で一定以上の成績が必要とされていますので、Speaking の能力を向上させるのが目標です。

Q クラスの雰囲気はどんな感じですか？

A 自主参加型の授業なので皆やる気をもって授業を受けていますが、空気が張り詰めている訳ではなく、ほど良い緊張の中で取り組むことのできる雰囲気だと私は思います。

Q クラスに継続的に参加した感想をお聞かせください。

A 私が高校生のとき英語のリスニングの授業は肌に合いませんでしたが、イングリッシュ・カフェはスモール・グループかつディスカッションにおける話題の幅が広いので、私はとても楽しく授業を受けさせてもらっています。(医学部1年生 Tさん)

② TOEFL Speaking Tutorial (毎週金曜昼 12:10-12:50)

香川大学大学教育基盤センターの McCrohan, Gerardine Mary (マクラハン・ジェラディーン・マリー) 先生による TOEFL のスピーキング対策講座です。スピーキングの特訓は1人より複数の方が効果的です。スピーキング力を伸ばしたい方にも最適なクラスです。



【学生の声】

Q 参加したきっかけは？

A 最初は英語がスラスラ話せるようになりたいと思いから English Lunch に参加しました。その後、他にもイベントがあり気軽に参加できることを知り、この春から利用するようになりました。イベント以外にもネイティブの先生とお話したり、宿題の英語をチェックしてもらったりと自分の英語力をアップさせるよい環境だと思っています。

Q クラスの雰囲気は？

A クラスの人々は俗に言う「意識高い系」に見えるかもしれませんが、まったくそういう雰囲気ではありません。笑顔が絶えない楽しいクラスです。とはいえ、メリハリもあってやる時はやる、という空気があります。ワークは難しいですが、分からない時は先生に質問できますし、質問があるから授業が進みます(もちろん英語で、ですが、)。

Q クラスに継続的に参加した感想をお聞かせください。

A 最初はまったくできません、当然。でも1週間に1回のクラスを重ねることでうまくなっているのが実感できました。もっとうまくなりたいと思える環境があるからこそ事前と自習の習慣もできました。(教育学部2年生 Hさん)

2018年度後期のイングリッシュ・カフェについて

これまでにご紹介したクラスは、後期からは少し変更されて、より気軽に参加してもらえるような英会話クラスから真面目な TOEIC L&R 対策講座等の開講も予定しています。お楽しみにしてください。また、前期は、いつでも誰でもクラスに参加してもらうようオープンに開講していましたが、後期からは、一部クラスに事前申込制(登録制)を導入する予定です。

駐大阪・神戸米国総領事らの本学訪問

2018年6月19日(火)、本学にかれん・ケリー駐大阪・神戸米国総領事らをお招きし、「ケリー総領事と話そう! Let's Talk with Consul General Karen Kelley!」を開催しました。今回来訪いただいたのは、かれん・ケリー総領事、コリン・フィッシャウィック政治経済担当領事、渋井 直美政治経済担当官です。

初めに、本学の山下理事、徳田オフィス長、他教職員がお迎えし、留学生を増やすための方策の意見交換やイングリッシュ・カフェの紹介を行いました。

その後、イングリッシュ・カフェにおいて、「ケリー総領事と話そう! Let's Talk with Consul General Karen Kelley!」を実施しました。本イベントには2名の留学生を含む国際交流に大変意欲的な22名の本学学生が参加しました。

グループディスカッションでは、4～5名のグループに分かれ、留学や国際交流について、自身の経験などを語り合いました。ケリー総領事らは個々にグループを回り、一人ひとりの学生から丁寧に話を聞いておられました。

【参加した学生の声】

総領事とディスカッションが出来るという貴重な経験をする事が出来ました。留学を取るか、就活を取るか、という問題について学生の意見を共有し合うとともに、総領事のご意見を伺うことが出来、とても有意義な時間でした。自分の考えを相手に伝えることをためらわないということ、というのがもっとも印象に残っています。今日の経験を今後の人生の糧にしていきたいです。(経済学部2年生)



学生達と話をされる かれん・ケリー総領事

『ちきゅう見聞録 — 香大生 Around the World』創刊！

海外留学中の香川大学生が、現地の生活の様子などを報告してくれる、楽しい読み物です。6月から原則月に1回『ちきゅう見聞録 - 香大生 Around the World』を発行しています。

ぜひインターナショナルオフィスのホームページ (<https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>) 「留学体験談」をクリックして目を通してみてください。



トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム 香川地域活性化グローバル人材育成プログラム

本プログラムは県内企業・団体からの寄付金をもとに、県内高等教育機関に在籍する学生に奨学金を支給し、地域の活性化に貢献する人材養成のための海外留学を支援する制度で、香川大学国際グループが事務局となっています。

①第9期派遣留学生選考

本学からは4名（学部生1名、大学院生3名）が採用されました。2018年8月からベトナム、タイ・ミャンマー、スペイン、ドイツに派遣しています。

②事前オリエンテーション開催（7月22日）

事前オリエンテーションは、派遣留学生が地域の特色と課題についての理解を深め、留学の目的を明確にするための機会です。第9期生に採用された5名（香川大学生4名と高松大学生1名）を対象に、「危機管理学習」「学外講師による講義」「派遣留学生たちのプレゼンテーション」「先輩派遣留学生からのアドバイス」という構成で実施しました。

学外講師として香川県県産品振興課の藤本圭一氏とメロディ・インターナショナル株式会社の河野弘就氏を招き、それぞれ、香川の県産品の魅力と香川から発信できるグローバルな企業活動について講義していただきました。また、学生は「ため池」「うどん」「栗林公園」など香川県に関するテーマについて英語でプレゼンテーションを行い、参加者と質疑応答を行いました。

③壮行会開催（8月9日）

西原義一香川県副知事、寛香川大学学長を始め、文部科学省、地域企業、県内の高等教育機関等から約30人が参加しました。派遣留学生は支援企業代表（メロディ・インターナショナルCEOの尾形優子氏）、先輩派遣留学生（第5期藤田岳峰さん）から激励を受けるとともに、留学で何を学び、どう香川に貢献するかについて決意表明を行いました。また、派遣留学生たちに対して、留学や県内インターンシップを通して香川と世界をつなぐ役割を果たすことを期待して西原副知事から「Student Ambassador of Kagawa」が委嘱されました。



香川に関するプレゼンと質疑応答



西原副知事が派遣留学生たちにメッセージを送る

<地域との交流活動>

留学生宿舎での交流活動

本学には留学生のための宿舎が3つあり（うち2つは国際性涵養のため日本人学生との混住）、日本文化体験を通して入居学生と近隣の地域の方々との交流を図ることを目的として、数年前より流しそうめんを行っています。今年度は、留学生会館（屋島）と花園寮の合同交流会および上之町国際寮の交流会の2回の開催としました。

6月23日（土）、屋島の留学生会館にて開催した合同交流会では、昨年参加して下さった近所のご家族も参加し、楽しく美味しいひとときが持てました。竹の設置からそうめんを作って流すところまで、また、サイドメニューの稲荷ずし作りも、全て初めての体験だという留学生がほとんどで、準備から片付けまで和気あいあいと進みました。心配された天候も終了まで降らずにもってくれ、実りある交流となりました。

7月21日（土）、混住寮である上之町国際寮で交流会を実施し、このイベントにより、寮生の交流を促進することができました。自治会を中心とする地域の方々を多くお招きするのも、同寮での交流会の特徴となっています。今回は30名以上の方がお越しになりました。

開始後は、流しそうめんでの交流以外にも、敷地内に設営したプールで、地域の子どもたちと寮生が水鉄砲などで楽しみました。

このような交流を通して、本学の留学生が地域の方々と距離を縮め、地域に根づいてくれることを願いつつ、交流活動を強化していきます。



留学生会館でのそうめん流し



上之町国際寮で水鉄砲を楽しむ留学生と子どもたち

三木高校インターンシップ生の受入

7月21日、23日～25日の計4日間、香川県立三木高校の1年生7名をインターナショナルオフィスのインターンシップ生として受け入れました。

21日は上之町国際寮での流しそうめんイベントにスタッフとして加わり、そうめんや稲荷ずしの準備、会場設営、地域住民への対応、片付けなど一連の作業を体験しました。

23日・24日は8月のオープンキャンパスに向けて、香川大学の学生グループ「ハラリシ」の活動を紹介するポスター作りと、インターナショナルオフィスおよびイングリッシュ・カフェを紹介するためのミニスタンプラリー台紙づくりを行いました。25日はさめきプログラム修了式・さよならパーティーの会場設営、修了式の補佐などを行いました。

このほかにも24日には香川大学に短期留学中のチェンマイ大学生たちを対象とした日本語レッスンに加わり、簡単な日本語会話や書道の指導を行って、外国人学生との交流を体験しました。

異文化を学ぶ前に日本の文化をまず勉強して説明できるよう知識を蓄えなければいけないことを学んだ。



今日は中国やマレーシアの方とふれあうことが多かったが日本語がすごく上手で日本人と話しているみたいにすごく話しやすかった。

オープンキャンパスではいろんな人にハラルシの活動について知ってほしいと思った。



ハラルについて大学生の方にプレゼンしてもらったが、自分もあまりにも知らなさすぎてびっくりした。

<他機関との連携活動報告>

JICA草の根技術協力「カンボジア国カンダルスタン郡の衛生教育改善のための学校保健体制の構築プロジェクト」

本学が香川県と共同実施している標記プロジェクトは2年目の活動に入り、順調に展開しています。今期は、昨年度に実施した本邦研修の効果の定着を図るため、6月3日～10日の日程で本学徳田オフィス長、医学部清水教授、農学部野村教授が現地に渡航し、協力対象となっている小学校の保健室の設置及び運用状況の確認をするとともに、来日研修後セミナーを開催し、本邦研修参加者へのフォローを行いました。また、教育省と協議のうえ、保健テキスト（副読本）の制作を行い、英語版のドラフトを完成させ、クメール語への翻訳作業を始めました。今後、教育省の確認を経て印刷し、現地における公開授業で使われる予定です。



学校保健室の視察



セミナーにて 包帯の実習

インターナショナルオフィス新任教職員紹介

●国際グループ

中田 亨佑 (留学生担当)

本年3月まで香川大学法学部で学生として在籍しておりました。昨年まで留学とは縁遠い学生生活を送っていましたが、精一杯努力していく所存ですので、どうぞよろしくお願いいたします。

松井 基泰 (留学生担当)

你好，我是松井
短い間ですが、よろしく
お願いします。

小林 秀樹 (グループリーダー)

海外留学をサポートしますの
で、気軽にご相談ください。

富士見 沙和 (留学生担当)

みなさまとの出会いを楽しみ
にしています！



山田 千絵 (国際交流担当)

気軽に話しかけてください。

●イングリッシュ・カフェ



Arran Chambers John (コーディネーター)・ 鈴木 栄里 (事務担当)

「授業にプラスしてもっと自分の語学力を高めたい」、「留学生と交流したい」、「海外や留学に興味がある」等、色々な理由でそう感じている学生さんが誰でも気軽に
来てもらえるイングリッシュ・カフェを目指してます。
よろしくお願いします！

インターナショナルオフィスからのお知らせ

11月5日(月)、留学生を対象とした就活準備セミナーを開催します。日本文化講座、内定した先輩からの講演、マイナビからの説明の3部構成で実施する予定です。

11月10日(土)、丸亀城、瀬戸大橋記念公園などを見学する課外教育行事を実施します。留学生とサポーター、チューターが対象です。

いずれも、部局の掲示版等で周知します。詳細は国際グループまでお問い合わせください。

香川大学
インターナショナルオフィスニュース
第19号 2018年(平成30年)10月1日

香川大学インターナショナルオフィス
〒760-8521 高松市幸町1-1
Tel : 087-832-1318 Fax : 087-832-1192
E-mail : soryucet@jim.ao.kagawa-u.ac.jp
URL : <https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/>
留学生センターfacebook
URL : <https://www.facebook.com/KUISC>